

492. Baire の函数ニ對スル萬有曲面

功 力 金三郎 (北大)

三次元空間 (x, y, z) ニ於ケル曲面 $z = f(x, y)$ が次の性質ヲ有スルトキ、ソレハ Baire の函数ニ對スル萬有曲面 ヲアルト云ハレル。

- 1) 任意ノ實數 $y_0 = \text{ツキ } y = y_0 \text{ ナル (} x \text{ 名平面 = 平行ナ) 平面ト曲面トノ交ハリハ常ニ } z = \varphi(x) \text{ ナル一ツノ一價ノ Baire ノ函数ヲ表ハス;}$
- 2) 任意ノ一價ノ Baire ノ函数 $z = \varphi(x) = \text{ツキ少ナクトモ一ツノ實數 } y_0 \text{ が存在シテ } \varphi(x) \equiv f(x, y_0) \text{ トナル。}$

Baire の函数ノ萬有曲面ハ常ニ存在スルノデアアルが更ニ曲面ニ制限ヲツケテ簡單ナ曲面ノ中ヲ探スト云フコトが問題デアル。

Sierpiński の "Sur une surface universelle pour les fonctions de Baire" Bulletin mathématique de la Société roumaine des sciences, tome XXXV (1933) p. 225—227 = 於テ、カ、レ萬有曲面ハ (空間 (x, y, z) ニ於ケル点集合トシテ) 決シテ解析集合タリ得ナイコトヲ示シ更ニ次ノ三種類ノ集合

- 1) 一ツノ解析集合
- 2) 一ツノ補解析集合
- 3) ニツノ解析集合ノ差

ノ和ヨリナレ曲面ノ中ニ Baire ノ 函数, 萬有曲面が存在スルコトヲ示シタ。通常解析集合ヲ A ヲ用ヒ, 補解析集合ヲ CA ヲ用ヒテ表ハス。スレトニツノ解析集合ノ差ハ $A_1 \cdot CA_2$ ヲ用ヒテ示サレル。

之レヲ簡單ニ A_p ヲ用ヒテ示ス。ニツノ A_p ノ 集合ノ差ハ A_{pp} ヲ用ヒテ示ス。

上テ Sierpinski が定義シタ曲面 S ハ

$$S = A_1 + CA_2 + A_3 \cdot CA_4$$

ナレ形ニ表ハサレル。依ツテコノ classification ナハ。

S ハ A_{pp} ノ 補集合ニナル者ナラシメ、Sierpinski, 上記論文ノ最後ニ

"Le problème s'il existe des surfaces universelles pour les fonctions de Baire, plus simple que la surface S (en particulier si elles peuvent être des complémentaires analytiques) reste ouvert."

ナレ文ヲ結ンダナル。

ソコデ、コノデハ Sierpinski ノ、コノ疑問ニ答ヘテ Baire ノ 函数ニ對スル萬有曲面ハ補解析集合ナラシメ得ルコトヲ示サウ。

定理. 補解析集合ニシテ, Baire ノ 函数ニ對スル萬有曲面ナラシムルモノ, 存在スル。

証明: 以下實際ニサウ云フ曲面ヲ作ツテ見セリ。

三次元空間 (x, y, z) ノ中ニ, 平面 (x, y) ニ合マレ

ル見ても、解析集合 = 對スル萬有解析集合 M が存在スル。
 即チ M ハ空間 $(x, y, z) =$ 於ケル解析集合ヲ、 $(x, z) =$
 於ケル任意ノ解析集合 $A =$ ツキ實數 y_0 が存在シ、 $(x_0, y_0,$
 $z_0)$ ナル平面ガ M ヲ切ルト切口ガ丁度 $A =$ ナル、シカモ
 E, M ハ

$$M = \sum_{\nu} \prod_K M_{n_1, n_2, \dots, n_K}$$

ナル形ヲ與ヘラレル。但シコノ $= M_{n_1, n_2, \dots, n_K}$ ハ $(x,$
 $y, z) =$ 於ケル閉集合ヲ、且ツ平面 $(x, z) =$ 於ケル閉集合
 ノ任意ノ *Sauslin* 圖 $\{F_{n_1, n_2, \dots, n_K}\}$ が與ヘラレルト
 $K =$ 無関係ノ實數 y_0 が存在シテ $(0, y_0, 0)$ ヲ通ル (x, z)
 平面 = 平行ノ平面ヲ M_{n_1, n_2, \dots, n_K} ヲ切ルト丁度ノ切口
 ガ F_{n_1, n_2, \dots, n_K} トナル。

サテ次ニ四次元空間 (x, y, z, t) ヲ考ヘル。且ツ最後ノ
 t 軸ハ *Baire* ノ零空間 Π デアルトスル、*Baire* ノ零空間 Π
 = 於テ、点 $\nu = (n_1, n_2, \dots, n_K, \dots)$ ノ中最初ノ K 個
 ノ座標 n_1, n_2, \dots, n_K が定マレル点ノ全体ヲ $\delta_{n_1, n_2, \dots,$
 \dots, n_K} ヲ以テ示スコトニスル。ソシテ

$$\gamma_K = \sum_{n_1, n_2, \dots, n_K} (M_{n_1, n_2, \dots, n_K} \times \delta_{n_1, n_2, \dots, n_K});$$

$$\gamma = \prod_{K=1}^{\infty} \gamma_K$$

ヲ作ルト M ハ γ ノ (x, y, z) 空間ヘノ正射影 トナル:

$$M = \text{proj}_{(x, y, z)} \gamma.$$

Y_k の四次元空間 $(x, y, z, t) =$ 於ける閉集合である、従って Y も亦さうである。

よこ今度ハ次ノ lemmaヲ用ヒヨウ。

Lemma. E 及び S ヲニツノ完備 (*vollständig*)
テ且ツ可分 (*separabel*) ナル *metric* 空間デアルトスル。
 Y ヲ空間 $E \times S^{(1)}$ = 於ける *Borel* 集合トスル。スルト E ノ
点 $p =$ シテ $(p \times S) \cdot Y$ ガ一ツ且ツ唯一ツノ点ヨリ成ルカ如
キ点 p ノ全体ハ空間 $E =$ 於ける補解析集合である。

(証明ハ *Lusin, Leçons sur les ensembles analytiques et leurs applications, p. 225*; 及
ビ *Kuratowski, Topologie I. p. 259* 参照)

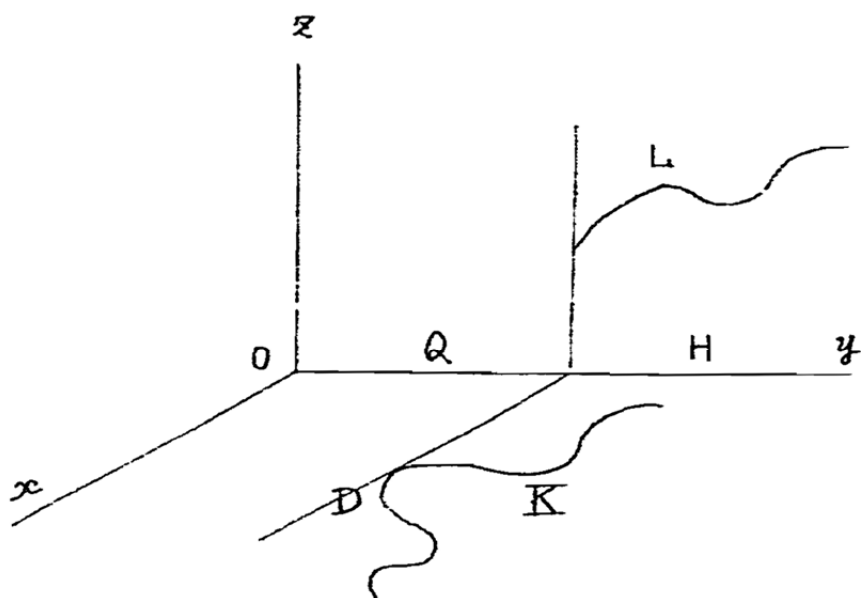
最初 E ヲ三次元空間 (x, y, z) , S ヲ *Baire* ノ零空間
 T トシテ, コノ lemma ヲアテハメル。 Y ノ (x, y, z) ハ
ノ *projection M* ノ点 $p =$ シテ, p ヲ通り z 軸 = 平行ナ
直線ガ Y ト一ツ且ツ一ツ = 限ツテ交ハル如キ p ノ全体ヲ C ト
スルト勿論 $C \subseteq M$ デ且ツ C ハ $(x, y, z) =$ 於ける補解析集
合である。

次 = 今度ハ E ヲ二次元空間 (x, y) 平面トシ, (簡單ノ
タメ = x 軸ヲ X , z 軸ヲ Z デ示シ), S ヲ $Z \times T$ トシテ
上, lemma ヲアテハメル。 Y ノ平面 (x, y) ハノ *pro-*
jection ノ点 $p =$ シテ, p ヲ通り (z, t) 平面ト平行ナ平
面ガ Y ト一ツ且ツ一ツ = 限ツテ交ハル点ノ全体ヲ D トスル

(1) X ハ合流空間ヲ示ス記号

ト D の平面 $(x, y) =$ 於ケル補解析集合デアアル。

(x, y) 平面 = 對スル D の補集合ヲ K トシ K の y 軸へノ正射影ヲ H , y 軸 = 對スル H の補集合ヲ Q トスル、スルト



K の (x, y) 平面 = 於ケル解析集合ガ從ツテ H の y 軸 = 於ケル解析集合, Q の y 軸 = 於ケル補解析集合トナル。

Q の次ノ如キ性質ヲ有ス、

- 1) $y_0 \in Q$ ナルトキ凡テノ $x =$ ツキ, (x, y_0) ヲ通り (z, t) 平面 = 平行ナ平面ト γ トノ交ハリハーツ且ツーツ = 限ル点ヨリナル。
- 2) y_0 ガ若シ凡テノ $x =$ ツキ (x, y_0) ヲ通り (z, t) 平面ト平行ナ平面ト γ トノ交ハリハーツ且ツーツ = 限ル点ヨリナルトキハ $y_0 \in Q$ デアル。

次 $X = X \times Q \times Z$ ナル集合即チ Q の各点ヲ通り x 各平面 = 平行ナ平面ノ和ヲ作ルト之レハ明カ $= (x, y, z)$ 空間 = 於ケル補解析集合デアアル、ヨツテ $U^* = (X \times Q \times Z) \cdot C$ トオクト U^* ガマタ (x, y, z) 空間 = 於ケル補解析集合トナル。

他方 H の z 軸 = 於ケル 解析集合デアアルカテ *Mazurkiewicz* の定理 = ヨリ (*Lusin* の上記著書 284 頁参照),
 (y, z) 平面上 = 補解析集合 L が存在シテ H へ L の *projection uniforme* = ナル. 即チ H の 各点カテ z 軸 = 平行線ヲ作ルト
ソレハ L ト一ツ且ツ一ツ = 限ル点ヲ交ハル. ソコデア $U^{**} = X \times L$
ナル集合ヲ作ルト U^{**} へ 眼カ = $(x, y, z) =$ 於ケル 補解析集
合デアアル.

従ツテマタ $U = U^* + U^{**}$ トオクト U が $(x, y, z) =$ 於
ケル 補解析集合トナル.

集合 U が吾々ノ 求メル 曲面ノ レツデアアル. ソレヲ証明
スルキニ = 凡テノ 実数 $y_0 =$ ツキ $(0, y_0, 0)$ ヲ通ル (x, z)
平面 = 平行ナル 平面ト U トノ 交ハリハ 常 = アル *Baire* ノ
函数 $z = \varphi(x)$ ノ *graph* = ナルコトヲ示サシ.

第一ノ 場合 $y_0 \in H$ ナルトキ.

$(y_0 \times z) \cdot L$ ハ (x, z) 平面上デア一ツ且ツ一ツ = 限ル点
 (y_0, z_0) ヨリナル. $(0, y_0, 0)$ ヲ通ル (x, z) 平面ト 平行
ナ平面ト U トノ 交ハリハ 同ツ平面ト U^{**} トノ 交ハリ = 等シク,
従ツテ $\varphi(x) \equiv z_0$ ナル 常数トナル.

第二ノ 場合 $y_0 \in Q$ ナルトキ.

コノ 場合、 Q ノ 第一ノ 性質 = ヨリ 凡テノ $x =$ ツキ点 $(x,$
 $y_0)$ ヲ通ル (z, t) 平面ト 平行ナ平面ト U トノ 交ハリハ
一ツ且ツ一ツ = 限ル点ヨリナル. ヨツテ点 (x, y_0) ヲ通リ z
軸 = 平行ナ 直線ト M トノ 交ハリモ一ツ且ツ一ツ = 限ル点ヨ
リナル. 之ヲ $z = \varphi(x)$ トオクコトが出来ル.

シカル = 地方 $(X \times Q \times Z) \cdot M = (X \times Q \times Z) \cdot C$
 が成立スル。何トナレバ先ツ $M \supseteq C$ デアルカラ

$$(X \times Q \times Z) \cdot M \supseteq (X \times Q \times Z) \cdot C$$

デアル、マタ $y_0 \in Q$ トシテ $(X \times Q \times Z) \cdot M$ ノ点 $(x, y_0, \varphi(x))$ ヲ考ヘルトコノ点ヲ通ツテ Z 軸 = 平行ナ直線モ亦 Γ ト
 一ツ且ツ一ツ = 限ル点ヲ交ハルカラ $(x, y_0, \varphi(x)) \in C =$
 属ス。故ニ

$$(X \times Q \times Z) \cdot M = (X \times Q \times Z) \cdot C$$

デアル。

ヨツテ $\varphi = \varphi(x)$ ノ graph ハ同時ニ $X \times y_0 \times Z$ ナル
 平面ト M トノ交ハリデモアルシ、マタ同ツ平面ト C トノ交
 ハリデモアル。即チ $(x, y, z) =$ 於ケル解析集合デモアルシ、
 マタ補解析集合デモアル。 Souslin ノ定理ニヨリソレハ
 Borel 集合ヲナクテハナラヌ、カクテ $\varphi = \varphi(x)$ ハ一ツノ
 Baire ノ函数デアル。マタ $X \times y_0 \times Z$ ト C トノ交ハリデ
 アルコトカラ之レが即チ $X \times y_0 \times Z$ ト \mathbb{U}^* トノ従ツテマタ \mathbb{U}
 トノ交ハリデアル。

最後ニ任意ノ一價ノ Baire ノ函数 $\varphi = \varphi(x)$ ニツキ少
 クトモ一ツノ實数 y_0 が存在シテ \mathbb{U} ト $X \times y_0 \times Z$ トノ交ハ
 リナク度 $\varphi = \varphi(x)$ ノ graph = ナルコトヲ示ソウ。
 $\varphi = \varphi(x)$ ノ class τ_α ($0 \leq \alpha < \aleph_0$) トスルト、ソノ
 graph I ハモハリ class α ノ Borel 集合デアル、ヨ
 ヲツテソレハ disjoint ナ Souslin 圖 (閉集合) ノ核ト
 シテ表ハサレル、即チ I ハ

$$I = \sum_{\nu} \prod_K I_{n_1, n_2, \dots, n_K}$$

ナル形ヲ與ヘラレル。但シ I_{n_1, n_2, \dots, n_K} ハ平面 (x, z)
 = 於ケル 閉集合ヲ且ツ 自然数ノ 相異ナル列 $\gamma = (n_1, n_2, \dots,$
 $\dots, n_K, \dots)$ 及ビ $\nu' = (n'_1, n'_2, \dots, n'_K, \dots)$, $\nu \neq \nu'$
 ニツキ

$$\prod_{K=1}^{\infty} I_{n_1, n_2, \dots, n_K} \cdot I_{n'_1, n'_2, \dots, n'_K} = 0$$

ヲ了ル。

サテ *Souslin* 圖 $\{M_{n_1, n_2, \dots, n_K}\}$ ノ 性質カテ \mathcal{G}_0
 ナル 実数カ 存在シテ $X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z}$ ト M_{n_1, n_2, \dots, n_K} トノ 交
 ハリカ K ノ 如何ニ 係ラズ I_{n_1, n_2, \dots, n_K} トナル。即チ

$$I_{n_1, n_2, \dots, n_K} = M_{n_1, n_2, \dots, n_K} \cdot (X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z})$$

縦ツテ マス

$$I = \sum_{\nu} \prod_K \{M_{n_1, n_2, \dots, n_K} \cdot (X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z})\}$$

$$= (X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z}) \cdot \sum_{\nu} \prod_K M_{n_1, n_2, \dots, n_K} = (X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z}) M$$

カクテ $I \cap \gamma \cdot (X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z} \times \mathbb{T})$, (但シ \mathbb{T} ハ *Baire* ノ 零空
 間) 平面 $X \times \mathcal{Y}_0 \times \mathcal{Z}$ ハノ 正射影ナル。

$(x, y_0, 0, 0)$ ヲ 通り (z, t) 平面 = 平行 + 平面ト γ ト
 ノ 交ハリ ハ一ツ且ツ一ツ = 限ル 点ヨリナル。ヨツテ $(x, y_0,$
 $0)$ ハ D = 属ス。シカモコノコトハ凡テ $\mathcal{C} = \text{ツキ}$ 成立スル。

Q, 第二ノ 性質 = ヨリ $\mathcal{Y}_0 \in \mathcal{A}$ ナル。他方テ $\sum \prod I_{n_1, n_2, \dots,$
 \dots, n_K カ *disjoint* ナルコトカラ $(x, y_0, \mathcal{G}(x)) \cap \mathcal{C} =$

属シ U ト $X \times \mathbb{R}_0 \times \mathbb{R}$ トノ交ハリガ丁度 $\phi(x)$, graph
=ナル。

カクテ U が吾々ノ求メル曲面デアアル。

— 以止 —

會計報告

昭和十一年一月一六月

| 摘要 | 收入 | 支出 |
|--------|----------|----------|
| 會費及寄附金 | ¥ 413.70 | |
| 前期不足金 | | ¥ 14.07 |
| プリント代 | | 348.15 |
| 送料 | | 45.04 |
| 丸善へノ支拂 | | 25.20 |
| 雜費 | | 2.64 |
| 不足金 | 21.40 | |
| 計 | ¥ 435.10 | ¥ 435.10 |

會費ノ集リが悪ク、本年六月ニプリント社ニ拂フベキ所ヲマツト此度拂ヘル様ニ十ツタ次第デアリマス。御迷惑ナラ今後ハ可成滞納トナラス様ニ御願ヒシマス。